

JR北海道健康経営宣言

「JR北海道グループ長期経営ビジョン未来2031」に定める「ありたい姿」の中にある「社員と家族が誇りに思える企業グループ」の実現のためには、社員一人ひとりが仕事に対し、誇りと使命感を持ち、いきいきと業務に従事することが必要である。

そのためには、会社として、社員一人ひとりの心身の健康に関する保持・増進のサポートを行い、安心して働くことができる環境づくりを行う「健康経営」の実現が重要であることから、以下に健康経営宣言を制定する。

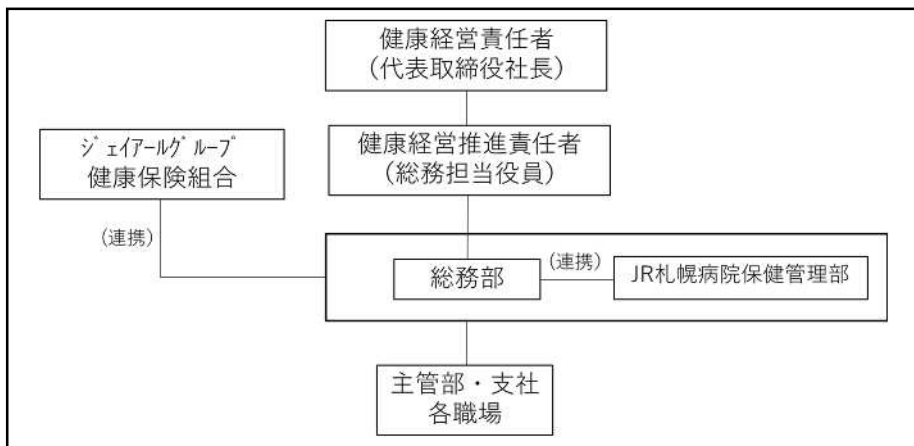
1 JR北海道健康経営宣言

JR北海道では、社員一人ひとりが心身ともに健康であることが、会社にとって最も大切な「財産」であると位置づけており、社員がいきいきと活躍することが、会社の発展に繋がるものと考えます。
よって、JR北海道は、社員の幸福を実現するために、社員の健康保持・増進を図るとともに、安心して働き続ける環境づくりに取り組むことを宣言します。

2 健康経営推進体制

JR北海道健康経営宣言の制定に伴い、社長を健康経営責任者とする推進体制を定め、毎年1回、経営会議にて当社の健康経営の進捗状況を確認する。

【体制図】



3 取組み内容

以下の3点を繰り返し実施していくことで、社員一人ひとりの心身の健康に関する保持・増進をサポートし、安心して働くことができる環境づくりを行う。

(1) 健康経営を推進する風土づくり

会社トップを含め、社員一人ひとりが健康に関して意識を高める企業風土を醸成する。

(2) 健康課題の把握・健康知識の習得

社員一人ひとりが自身の健康状態を把握するとともに、正しい健康知識や健康づくりの重要性を学ぶことができる環境づくりを行う。

(3) 健康状態の保持・増進

健康状態の把握によって抽出された課題に対し、重点的に取り組む項目を定め、健康状態の保持・増進を図る。